

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



親子で楽しむ
ハーブ体験



詳細については12ページ

6月定例会 7月臨時会 のあらし

6月定例会は6月7日から10日間の会期で開催されました。
町長より議案7件、議員より発議案5件が提出され、審議した結果それぞれ原案のとおり承認・可決されました。
一般質問は12名の議員が、2日間にわたり行いました。
また、臨時会が7月14日に招集され、提出された議案は原案のとおり可決され、議会推薦の農業委員会委員も決定しました。



6月定例会
7月臨時会

東日本大震災に伴う災害復旧・救助に関する補正予算についてなどを可決・・・P2

原子力発電所事故に伴う放射線に対する町の対応についてなど 行政報告・・・P4

町政を問う 議員12名が一般質問・・・P5~P11

一般会計補正予算など

7 議案承認・可決



放射線量の測定(中央保育園園庭)

平成23年6月議会で可決された議案は次のとおりです。

◆専決処分の承認を求めることについて

東日本大震災への税制上の対応であり、地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、納税者に実害が及ばないようにするため、町税賦課徴収条例の一部を改正したことについて承認を求めるものです。

◆工事委託契約の締結について

酒々井南部地区における公共下水道事業に関する委託について、独立行政法人都市再生機構千葉地域支社と仮契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。

◆工事請負契約の締結について

ICアクセス道路整備工事(3B-012号線カルバート工)について、制限付き一般競争入札を実施した結果、千葉市の株式会社ハマダ千葉営業所が落札し、同社と仮契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。

◆工事請負契約の締結について

尾上浄水場電気設備更新工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、福井電機株

式会社が落札し、同社と仮契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。

◆工事委託契約の変更について

南酒々井橋他1橋の剥落対策工事及び耐震補強工事設計について、工期を変更する仮契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。

一般会計

◆一般会計補正予算(第2号・第3号)

補正の主な内容は、東日本大震災に伴う災害復旧・救助

に関する道路・公園及び地区集会所の補修工事や避難者支援見舞金に関するもの、インターチェンジ関連道路の改良工事、地方議会議員年金制度の廃止に伴う負担金及び千葉県議会議員補欠選挙の執行経費についての補正です。

【報告】

○一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

「町道における歩道整備や舗装補修事業」、「岩橋保育園庭整備事業」、「小・中学校図書館図書整備事業」など18の事業について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。

○一般会計予算事故繰越し繰越計算書について

「町道1B-069号線舗装補修事業」について、東日本大震災の影響で年度内の執行が困難になり、翌年度への事故繰越しの処理をしたため報告するものです。

○下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

「本佐倉地区下水道整備事業」について、繰越明許費の設定を行ったので報告するものです。

議員発議によるもの

◆議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出(2022)

◆国における平成24(2012)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

◆地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出について

◆福島原発危機の収束と救援、復旧、復興にむけた緊急対策を求める意見書の提出について

議案・反対討論(要旨)

地福美枝子議員

(議案第2号・第4号について)

議案第2号にすべて反対というわけでは決していない。民生費の施設修繕補助金、改良住宅の耐震診断であるとか、もちろん災害見舞金について反対するものではない。しかし、議案第2号の道路改良新設費6,800万、それと関連して議案第4号のアクセス道路の整備工事費については反対である。アクセス道路の整備については、本来県がやるべき事業ではないか。また交通量について定かでない中で4車線が必要なのかどうか、そういう点から反対せざるを得ない。

齊藤博議員

(議案第2号・第3号・第4号について)

議案第3号・第4号は、南部開発事業の開始時、その目的は財政的基盤の確立、自主財源の向上の達成ということだったが、今回の質疑を通してこの最大の目的が達成できないことが明白となってきた。その南部

開発事業に対して、さらに町の自主財源を注ぎ込むという内容から反対をする。

町長は、当初南部開発事業について、先ほど申し上げた達成効果を声高に説明していたが、今は町財政を豊かにするとの言葉を全く使わなくなり、全体事業の一部であるICアクセス道路の事業費が、十数年かけてその負債を解消できるとの説明だけに終始している。当町の高齢化社会に備えて自主財源を創出する、こういう目的は完全に望めなくなつたと私は判断している。そういう中で、さらに南部開発事業に貴重な自主財源を投入することについて反対をする。同様に議案第2号の中にICアクセスの追加予算が組まれているので、その部分についても反対をする。

竹尾忠雄議員

(議案第3号について)

進出する企業そのものも定かでない状況の中、当初予定していたURの土地の半分にも満たない状況でチェルシージャパンが進出するという。これについてもいまだに事業計画もなされ

ていない。こういう中で、3年間で全体の事業費として8億円、うち町は40%の負担であり、下水道事業については、進出する企業の見直しもない中で税金を投入し、結局は使用料金も取れず、維持管理費が町の下水道会計に押し寄せることになるのではと反対する。

既に、これまで企業誘致といながら、墨のスポット開発についても、投資して30年以上経過した中で、まだ半分足らずの企業しか進出していない。こういう状況をみても、そのときに上に今は大変な社会状況の中であり、企業の進出は見込めないでこのような税金投入について反対する。

平成23年度 補正予算額 (単位：千円)

会計名	補正前	6月補正額	補正後
一般会計	5,833,592	155,735	5,989,327

議案と議決結果 (町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認 ◎
2	平成23年度酒々井町一般会計補正予算 (第2号)	※	原案可決 ○
3	工事委託契約の締結について	経済建設	原案可決 ○
4	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決 ○
5	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決 ◎
6	工事委託契約の変更について	経済建設	原案可決 ◎
7	平成23年度酒々井町一般会計補正予算 (第3号)	なし	原案可決 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。(※)は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

発議案と議決結果 (議員提出のもの)

番号	件名	提出者名	本会議の議決結果
1	議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	小早稲 賢一 議員 他5名	原案可決 ○
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決 ◎
3	国における平成24(2012)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決 ◎
4	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出について	経済建設常任委員会 委員長 御園生浩士	原案可決 ◎
5	福島原発危機の収束と救援、復旧、復興にむけた緊急対策を求める意見書の提出について	地福 美枝子 議員 他3名	原案可決 ○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町長より3件の行政報告がありました。(要旨)

原子力発電所事故に伴う放射線に対する町の対応について

福島第一原子力発電所の事故により、放出された放射性物質による健康などへの影響について、町民の皆さんの不安や関心が高まっています。

このような中、印旛郡市広域市町村圏事務組合を構成する九つの市町長及び議会議長の連名で、大気中放射線量のよりきめ細かな測定と結果を公表することなどの要望書を6月2日、県に提出したところです。

一方、町では放射性物質に関する情報収集とその公表、迅速な対応を図るため、庁内関係課長会議を組織するとともに、緊急対応として佐倉市八街市酒々井町消防組合に依頼して、独自の測定地点での放射線量を簡易測定により調査することとしました。

測定場所は、役場、中央保育園、岩橋保育園、酒々井小学校、大室台小学校、酒々井中学校、ハーブガーデン、尾上浄水場の8施設で測定日を定めて行い、結果を町のホームページでお知

らせています。

また、小中学校及び保育園の測定結果については、教育委員会から保護者全員に文書で通知を行うとともに、各施設の測定結果について役場正面玄関などに掲示しています。

今後も国の基準の見直し等に留意しながら、引き続き調査を継続していきたいと考えます。

酒々井町地球温暖化防止実行計画の経過及び公共施設の節電対策について

酒々井町地球温暖化防止実行計画の目的は、町の事務・事業の実施に際し、温室効果ガスの排出抑制等の地球温暖化防止に向けた取り組みを計画的に実行するもので、平成20年度を基準年度とし、平成22年度から平成26年度までの5年間で温室効果ガスを6・16%削減することを目標に実施しているものです。

平成22年度の温室効果ガス排出量は、施設や公用車に係るガソリン、灯油、ガス等の燃料でマイナス2%、公用車の走行に係る削減率がマイナス30%と大幅な削減を実行できましたが、昨年度は猛暑の影響もあり電力量で2%増加が見られ、電力量

が74%とこの実行計画に占める割合が高いことから、全体では1・5%の増加となりました。このように他の項目では温室効果ガスの削減が図れていることから、この排出量の主な増加原因を分析してみると特に夏期における電気使用量が増加しており、昨年の異常な猛暑による各施設の空調設備等に係る電力量の増加が原因であると考えます。

このようなことから、温室効果ガスの削減には電力量の使用抑制が最重要課題と考え、電力量の削減に努め、平成26年度までに目標値の6・16%の削減ができるよう鋭意努力いたします。

また、節電対策では、東日本大震災の影響で電気の供給能力の不足が想定されることから、現下の情勢に鑑み20%の消費電力削減を目指していきたいと考えます。

当町の消費電力削減の取り組みについては、ハード面では、平成22年度に、役場庁舎、中央公民館の照明器具を省エネタイプのものに交換しました。平成23年度は、岩橋保育園の照明

器具を省エネタイプのものに交換することや、今議会の補正予算に、防犯街灯の一部を省エネ効果の高いLED照明に切り替える経費や、役場庁舎の節電対策として、窓ガラス用透明遮熱フィルムの購入経費を計上したところとです。

また、ソフト面の対策として、事務所内の照明や空調設備の節電に努めているところです。

今後は、目標達成のためにこれらの節電対策の推進を図るとともに、週1回のノー残業デーの実施など更に工夫を凝らし、消費電力の削減を図るため必要な措置を講じます。

なお、町民の皆様にも「酒々井町環境家計簿」を活用いただき、温暖化の防止や節電対策に取り組んでいただけますようお願いいたします。

もやせるごみ袋の追加について

ごみ袋のサイズについて、既存よりも小さめのものも作って欲しいとの要望をいただいていたのですが、特に需要の多い「もやせるごみ袋」について、15リットルのごみ袋を追加したのでご利用ください。

請願の審査結果

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

請願番号	件名	請願者名	本会議の議決結果		
			採択	賛成	反対
請願第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 小比類巻 勲	教育民生	採択	◎
請願第4号	「国における平成24(2012)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 小比類巻 勲	教育民生	採択	◎
請願第5号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書採択の請願書	社団法人 千葉県労働者福祉協議会 会長 黒河 悟	経済建設	採択	○
請願第6号	東酒々井郵便局前に信号設置を求める請願	井上 敬一	総務	採択	◎

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

6月定例会の一般質問は、15日と16日の2日間に12名の議員が、防災対策、酒々井南部地区新産業団地など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。



問 避難指定場所や医療施設等、多くの方が集まる場所に適確な情報を提供し、町民の安全確保を図るために、戸別に防災行政無線を配置してはどうか。

総務担当参事 今年度に防災行政無線の聞き取り状況の点検調査を実施するので、その対応の中で検討していく。

問 災害時に対策本部を設置する役場庁舎や避難場所となる公共施設の耐震補強が必要と思うが、町の考えを伺う。

総務担当参事 役場庁舎の耐震診断等については、今議会の補正予算に計上している。耐震診断の結果などを踏まえ、改修にあたっては災害対策本部の拠点として機能が十分発揮できるよう、自家発電機等の設置を含め総合的に検討していきたい。

問

多くの人が集まる場所に防災行政無線の設置を

答

防災行政無線の聞き取り状況を調査し、その中で検討する

御園生 浩士 議員

問 町では東日本大震災の避難者を受け入れるためにボランティアを募集したが、登録者の善意に対して今後どのような対応をしていくのか伺う。

総務担当参事 64名の登録を頂いたが、避難所への避難者がなく活動していただく機会がなかった。

問 人間の想像をはるかに超える被害をもたらすのが自然災害であるが、改めて中川の治水対策についてどのように対応するのか伺う。

町長 中川治水対策のための調節池の整備は、議会の承認をいただけなかった。まちづくり交付金が終了した現時点では、時を逸した感が否めないが、被災住民の苦難を考え、引き続き合意形成を図りながら取り組んでいく。それとともに、流域における個人負担も含めた流出抑制対策の実施が必要であり、そのためには、流域住民の共助の考え方に基づいた合意形成を図るための必要な話し合いを進めていきたい。

また、これまでの経過からいくと、議会のご意思が重要であると考えている。

問 災害時にはペット同行の避難に備えた運営を

答 人命が最優先であり、ペットとの避難は困難である

金塚 学 議員

問 ① 町で運用している防災行政無線が聞こえづらいという相談が多く寄せられているが、町としてどの程度把握し、その方々にどのような対策を行っているのか伺う。また、町には「防災行政無線局戸別受信機管理規程」が定められているが、この戸別受信機の設置状況について併せて伺う。

「聞き取りにくい」等の苦情が多数寄せられたので、今年度、点検調査を実施し、その結果を基にどのような対応をすべきか、また、対応できるか検討していく。また、戸別受信機については、防災行政無線設置時の難聴地域の設置希望世帯や公共施設、消防団関係者、行政連絡員等に200台ほど配布している。

② 当町でも核家族化や少子高齢化及びペットブーム等を背景にペットを飼育する家庭が増え、家族の一員、あるいは人生のパートナーとして、心の支えとされている方がおり、災害時にはペットとの同行避難を希望する声も多く、避難所にペットを連れてくること

が予想されている。町では災害時のペット同行の避難に備えた避難所の運営方法についてどのように考えているのか伺う。



町内に38基設置されている防災行政無線

総務課長 ① 防災行政無線は、平成4年度、平成5年度に設置したものであり、その後、建物の状況等町内の環境も変化しており、聞き取りにくい地域が発生している。東日本大震災時に防災行政無線を行った際、「聞こえな

い」等、災害時は人命最優先となるものであり、避難所は、不特定多数の人達が避難する施設であるのでペットとの避難は困難なものがあると考えている。

問 議会が活性化しないと町は活性化しない

答 改革により町議会が活性化されることを期待する

那須 光男 議員

問 平成9年の地方分権推進委員会の第2次勧告において、議会機能の強化や議会の組織・構成及び運営について数項目の提言がなされた。この勧告に基づいて、全国町村議会議長会は町村議会活性化委員会を設置し、平成10年4月には「町村議会の活性化に関する報告書」を取りまとめ、各町村の活性化を促してきた。町村議会議長会が議会の活性化を声高に唱えているのは、

で大変美観を損ねている。田の排水路も雑草がはびこりへドロが堆積している。定期的に入入れをする必要があると思う。また、生活道路の補修も早急にするべきと思うが町の対応を伺う。

議会が活性化されなければ各町村が活性化されず、衰退してしまうことを危惧しているからではないか。一問一答方式の導入、議員の発言台を対面式に設置する、告示の見直しなど、町長は議会の問題だと片付けしないで、是非耳を傾けていただきたいと思うので、所見を伺う。

まちづくり課長 街路樹の除草については、街路樹管理業務委託の中で実施している。また、道路補修については、道路パトロールや住民等からの通報により、舗装補修作業を行っている。なお、補修延長が長く全体的に補修が必要とする場合などは、補修計画を立てて修繕を実施したいと考えている。

町長 町議会改革については、行財政改革と同様に町民にとって大変重要なものである。改革によりますます町議会が活性化され、町の発展に寄与されるよう期待する。

町の美観と町道の補修について 町道の街路樹の根元は雑草だらけ



問 福島第一原発事故における農家の風評被害は

答 風評による被害は少ない

内海 和雄 議員

問 ① 福島第一原発事故における農家の風評被害について、町は把握しているのか伺う。

② 出荷停止等の措置がとられた場合、町はどのような対応をするのか。また、その際の補償についても伺う。

町長 ① 「ほうれんそう」を栽培する農家から業者に買取りを拒否されたとの相談があったので、実損額の証明ができる書類等の管理を指導するとともに、福島原子力補償相談室の連絡先をお知らせした。なお、農産物等直売組合員等からの情報を集約すると風評による被害は少ないものと考えている。

産業課長 ② 暫定規制値を超える放射性物質が検出された場合を想定し、JA成田市との協議により速やかに生産者に対し出荷自粛の要請が出来る体制を整えている。補償については、「政府等による出荷制限指示等」があった区域については損害賠償の対象となる。酒々井インターチェンジ及び南部地区開発について

問 ① 酒々井インターチェンジ及び南部開発の進捗状況について伺う。

② 家屋移転は、何年計画で行うのか。経済建設担当参事 ① 県施工のインターチェンジ部分は、平成22年度末の進捗状況は、事業費ベースで約74%と聞いている。また、南部開発の進捗状況は、都市再生機構（UR）より、平成24年4月の進出事業者への第一次引渡しに向けて地区全体の75%について工事に着手していると聞いている。

② URからの情報によると、全体で14件の家屋移転があり、3件については補償契約を締結し、その内2件は移転が完了している。その他については、順次、移転補償契約を結んで、家屋移転を行っている。町内における急傾斜地について

問 ① 町内に危険な急傾斜地は何箇所あるのか伺う。

② がけ崩れ等の災害が起きた場合、その復旧費用は誰が負担するのか。総務担当参事 ①② 急傾斜地崩壊危険箇所については37箇所把握している。がけ崩れ等が発生した場合の復旧費用は、一般的にがけ地所有者が負担することになるものと思う。

問 都市マスタープラン改定業務の推進状況は

答 現況と課題の整理を行った後に、平成24年初旬を目標に取りまとめていく

原 義明 議員

問 都市マスタープランは、総合計画を補完し、主に土地利用に係るまちづくりの将来像を示すものであるが、長期にわたる故、社会や町の状況変化により見直しの必要性が生じてくるのは当然である中、ようやく平成23年度から平成25年度の実施計画書に都市マスタープラン改定業務の推進が図られたことから、次の3点について伺う。

① 平成23年度の現況と課題の整理について現在の推進状況を伺う。

② まちづくり方針の見直しの具体的な方向性について伺う。

③ 町内に都市計画や都市マスタープランとの整合性のない土地利用が目につく場所がある。特に中川踏切の東酒々井側、福太郎前の土地利用について都市計画や都市マスタープランにおける用途や位置づけに対する詳細な説明と現在の土地利用状況について伺う。まちづくり課長 ① 都市計画基礎調査等の結果に基づき現況と課題について整理を行う。

② 現況と課題の整理を行った後、町都市マスタープラン策定委員会等の意

見をいただきながら、平成24年度初旬を目標に取りまとめていきたい。

町長 ③ この地域は、都市計画の手引きにあるように雨水の氾濫を防止し、後にまちづくりを計画することになる。都市マスタープランの見直しの中で、治水対策を明確にした上で、将来的な土地利用を改めて検討することになる。防犯カメラ設置について

問 安全安心なまちづくりを目指す住民から防犯カメラ設置の要望が多々聞こえることから次の2点について伺う。

① 防犯カメラ設置について、町の意向と方向性について伺う。

② 県事業として、防犯カメラ設置事業の助成があるが、町の対応を伺う。

町長 ① 犯罪状況を見ながら防犯カメラの必要性について検討していく。

総務課長 ② 県事業の防犯カメラ設置補助金の交付要件として、平成21年または平成22年中に、ひったくり犯罪が5件以上発生している市町村に交付するものであり、当町では、平成21年が2件、平成22年が1件となっており、交付対象外となっている。

問 メールは的確かつ広範囲に情報伝達ができる

答 緊急情報メール配信サービス構築にむけて検討する

川島 邦彦 議員

問 ① 防災行政無線は、気象条件や地域により聞きにくい問題がある。町の認識と合わせ対応策を伺う。

② 緊急情報メール配信サービスの開始判断を伺う。

③ 有事の際、災害対策本部を構成する職員の安否確認について、どのように考えているのか伺う。

総務担当参事 ① 防災行政無線放送が、「聞こえない」「聞き取りにくい」等の多くの苦情が寄せられた。今年度、点検調査を実施し、その結果に基づきどのような対応をすべきか、また、対応できるか検討していく。

② 緊急情報メール配信サービスは、安全安心なまちづくりの推進につながるものと考えている。今後、システム構築にむけて検討会を立ち上げ検討していきたい。

総務課長 ③ 緊急情報メール配信サービスを利用しての職員の安否確認を検討するとともに、招集連絡を取る方法も考えている。

都市計画及び都市マスタープランに
CSM

問 都市計画及び都市マスタープランは、第5次酒々井町総合計画との整合性を図るため、どのように取り扱うのか伺う。

町長 町民の意見を聞いて構想をつくり、それに基づいて具体的な基本計画や都市マスタープランになる。議論の中で要望を含めながら最終的には整合性を図っていく。

体育館施設について

問 ① 町体育館(休館)のあり方を審議中だが「今後も必要」ということを前提に議論を行っていること認識してよろしいか。

② 大室台小学校体育館脇のトイレは出入口通路内かつ男女兼用であることから環境改善が必要ではないか。

教育長 ① 「町体育館は必要である」との認識のもと検討している。

② 子どもたちが体育館脇トイレを利用することはほとんどないが、社会体育関係団体等が利用する際には男女別になっていないなどの問題があることは認識している。今後、男女別に区切る改修工事を検討していきたい。

問 公共施設の耐震化状況は

答 役場庁舎などの耐震診断を実施する

篠田 誠 議員

問 町内公共施設の耐震化状況と未耐震公共施設の耐震化に向けて、今後のスケジュールを伺う

町長 町では、耐震改修促進計画を策定し、建築物の耐震化促進を図っている。小中学校については、耐震改修が必要な箇所はすべて完了したところである。役場庁舎等の耐震診断については、今議会の補正予算に計上したところであり、診断結果を踏まえ耐震補強設計等を計画的に実施していきたい。

平成24年度には、中央保育園と同和集会所の耐震補強工事を実施する予定であり、中央公民館についても耐震診断を実施する予定である。この他の公共施設については、なるべく早い時期に耐震診断の方法等を含め総合的に検討し、公共

施設の耐震化を推進していきたいと考えている。

また、これまでの経過からいくと、議会のご意思が重要であると考



役場庁舎

問 まちづくり交付金事業が終了してしまっただけ、今後の中川流域防災事業の予定について伺う。

町長 平成18年に中川治水対策として最も効果的である調節池の整備を計画し、同時に国からの交付金事業が採択され、実施に向けていたが、その執行について議会の理解を得ることができないまま、交付金は終了してしまっただけ、現在まで議会から調節池の代替案も提示されないなど合意形成がなされていない状況で補助金等を要望していくことは、町の信用問題にもなり兼ねない。したがって、現在の状況では、困難であると考えている。しかしながら、被災住民の苦難を考え、新たな構成となった議会に対して、引き続き調節池による治水対策の合意形成を図り、補助金等の要望をしていきたいと考えている。

また、これまでの経過からいくと、議会のご意思が重要であると考



中川

問 食糧や資機材等の備蓄状況は

答 防災計画の見直しに合わせて整備していきたい

齊藤 博議員

問 ① 町地域防災計画では「備蓄倉庫の整備、資機材、食料、医薬品等を逐次増やす」となっているが、備蓄の現状、充足率、備蓄する基準を伺う。

② これから整備する予定の中央台公園は、有事の際には住民が避難してくる場所、そこにドクターヘリの発着場が増設されると避難スペースが狭くなり混乱すると思うが、防災計画との整合性はとれているのか伺う。

町長 ① 町地域防災計画では、備蓄の目標量を定めていないが、計画の見直しに合わせて、適切な備蓄量を検討し、計画的な整備をしていきたい。

② 防災計画の見直し中で調整している。また、中央台公園にヘリが離発着となれば避難者は公共用地等に避難してもらおうことになる。

南部開発事業について

問 ① この事業の目標の一つに就労人口を「2,000人」に増やすとあるが、昨年度末の評価では「1,100人」となっていた。しかし増加した実感がない。数字の根拠を伺う。

② チェルシージャンの事業計画の

提出時期の見込みを伺う。

まちづくり課長 ① この数値については、現時点で事業計画が示されていないため、進出予定企業者が実施する同規模類似施設（あみプレミアムアウトレット）を基に見込み値を設定した。

町長 ② インターチェンジの供用開始に合わせて開業したいと聞いているが、事業計画については、計画中であり、公表できる状況には至っていないと聞いている。

つちのくにブランド事業について

問 酒々井ブランドを創り出すプロジェクトが動き出したが、小中学生からもアイデアを募集する等町全体で知恵を出す必要があると思うが如何か。また、初年度の目標は何か。

住民協働課長 しやすいブランド商品が絞れてきた段階で人気投票の実施やパッケージ方法等のアイデアを募集する等、幅広い世代の意見を取り入れるよう検討していきたい。また、今年度内には一定の商品を作って成果を出したと考えているが、すぐに成功するのは難しいと認識している。

問 震災対策をどのように考えているのか

答 災害に強いまちづくりを推進していく

佐藤 修一議員

問 東日本大震災を教訓に、今後発生が予想されている「東京湾北部地震」や「千葉県東方沖地震」等から住民の安全や財産を守るため、町は震災対策についてどの様に考えているのか。

町長 災害に強いまちづくりの推進を図っていく。そのためには、市街地の整備、道路、公園等の都市空間の整備、建築物の安全対策等をはじめとする防災都市づくりを推進していく。また、災害時には、町を中心とする防災関係機関において迅速な防災活動が図れるよう組織及び活動体制の整備をはじめ、情報連絡体制の整備等を推進し、災害に強い防災体制の確立を図っていく。

南部土地区画整理事業について

問 都市再生機構（UR）は、事業主体として「南部土地区画整理事業」を進めているが、URは開発事業者及び大口地権者であることから、町の活性化策等を町に表明しているのか伺う。

経済建設担当参事 町とURは、インターチェンジに近接している立地条件を活用し、町の新しい拠点としての新産業団地を形成するため、企業誘致及

び基盤整備を行い、もって地域の活性化、民間投資の誘発、雇用の促進等、地域発展に寄与することを目的とし、双方協力して事業を進めている。

住民の要望について

問 中川踏切の渋滞解消策や東酒々井・中央台間の連絡道の設置については、現位置での解決は困難と思われる。そこで、中川踏切から300メートル成田寄りの殿辺田踏切を改良拡幅して、国道51号線から町道そして国道296号線に連絡する道路網の策定をすることが、中川踏切の渋滞を緩和し、中心市街地の活性化につながるものと思うが、町の考えを伺う。

町長 質問の幹線道路を整備すれば、消防署からの緊急車両の迅速な通行が可能になる。また、中川踏切の渋滞解消等が図られ、通学児童等の交通安全対策に有効である。更には南部地区への交通アクセス性も向上する。町の将来を見据えれば必要な道路と考える。この幹線道路を含めた計画は、総合計画や都市マスタープランの見直しの中で積極的に検討していきたい。

問

自治会単位での防災体制づくりを

答

育成・支援に努めていきたい

江澤 眞一 議員

問 ① 町内にあるマンション及び県営住宅等の耐震性について、町は把握しているのか何う。

② 各自治会単位での防災体制づくりをすべきと思うが町の考えを何う。

③ 災害時の対応として、各集会所等に太陽光発電の設置を推進すべきと思うが町の考えを何う。

町長 ① 建築基準法の新耐震基準適用以前の構造基準で建設されたマンションとして、県営住宅、中央台ハイ

ツ、アイビネオハイツ、ひとみマンションがあるが、これらのマンションは全て構造がRC壁式構造等であり、いずれも壁量が多いため、阪神・淡路大震災においても被害はほとんどなく、一般的に耐震性が高いとされている。

② 防災体制づくりは、行政による「公助」だけでなく、一人ひとりが自分や家族の安全を自ら守る「自助」、そして地域の人々や団体等が力を合わせ助け合う「共助」の役割が大きい。「共助」につながる自主防災組織は、自治会等が基本となるので、今後も自主防災組織の育成・支援に努めていきたい。

③ 太陽光発電は、気象による不安定性はあるが、技術革新により費用が10分の1程度まで圧縮されると聞いているので、効果を考えながら推進していきたいと思っている。

中川地区の治水対策について

問 ① 中川地区の治水対策について、町長の考えを何う。

② 地元との協議はどのようなになっているのか何う。

③ 今後の予定について何う。

町長 ① 中川の洪水から住民・財産を守ることは、町政としての使命であり、調節池による対策が費用対効果等から最良な手段であると考えている。

②③ 被災住民から中川治水対策を求める請願により、最も効果的である調節池による整備を計画し、国からも交付金による事業が採択されたが、その執行について議会の理解を得ることができず、交付金事業は終了してしまつた。被災住民の苦難を考え、新たな構成となった議会に対して、引き続き調節池による治水対策の合意形成を図り、補助金等の要望をしていきたい。

問

災害時の対策本部となる役場庁舎の耐震化はいつ実現するのか

答

耐震診断等の予算を今議会に計上した

竹尾 忠雄 議員

問 ① 3月定例議会で役場庁舎の耐震化を質問したところ、町長は「耐震診断を6月補正で実施したい」との回答であったが、今後の耐震化に向けてのスケジュールについて何う。

② 町指定の避難所（11カ所）に備蓄倉庫や防災井戸の計画的な整備が必要だと思うが、町長の考えを何う。

③ 防災無線が「聞きづらい」「聞こえない」等の意見が寄せられているが、今後の対応について何う。

町長 ① 本庁舎の耐震診断等の予算を今議会の補正予算に計上した。今後は、国の補助制度を活用し、平成24年度に耐震補強設計、平成25年度に耐震補強工事を実施していきたい。

総務担当参事 ② 備蓄倉庫を整備している避難所は4カ所、防災井戸については3カ所あるが、今後、計画的な整備ができるよう努めていく。

③ 今年度、点検調査を実施し、その結果に基づきどのような対応をすべきか、また、対応できるか検討していく。

南部地区開発について

問 ① チェルシージャパンと都市再

生機構の間に事業用定期借地権設定契約が締結されたが、開業予定はいつになるのか何う。

② 平成21年10月の新千葉タイムズのインタビュで町長は「町は県と折半でアクセス道路を整備する。財政的にはそれほど負担にならない。15年間にわたって起債を返済するが、年1、100万円程度で、開発地に建物がない」とも、宅地になっただけで固定資産税約1億円の税収なので、せめてその位は町の将来のために投資させていた

経済建設担当参事 ① インターチェンジの供用開始に合わせて施設を開業したいと聞いている。

町長 ② 区画整理の完成年度が平成30年度であるが、その時点では1億円を上回る税収がある。これは間違いない話である。インターチェンジやアクセス道路が出来れば墨工業団地への企業進出や南部地区の沿道利用など効果は大きい。

問

放射能測定について、町の対応は

答

8施設で測定し、ホームページで公表している

地福 美枝子 議員

問 ① 現在の原発に頼る国のエネルギー政策について町長の考えを伺う。

② 放射能測定について、町の対応及び公表について伺う。

③ 測定場所を増やすべきと思うが。

町長 ① 事故を教訓に、新たなエネルギー政策が国全体で推進され、安全かつ安心、安価な電力供給が図られることを期待している。

② 役場、保育園、各小中学校、浄水場など8施設で測定し、結果を町ホームページで公表している。

③ 状況を見ながら増やしていく。

防災計画の修正について

問 ① 関係法令の変更は何か。

② 計画はどのような観点で変更するのか。また、今回の大震災で何を教訓にするのか伺う。

③ 防災訓練を実施するべきと思うが。町長 ① 被災者生活再建支援法などの法改正が行われた。

② 近年の災害傾向や町の実情に合った計画になるよう見直し、防災意識及び防災力の向上に努めたい。

③ 検討させていただきたい。

交通問題について

問 ① 東酒々井郵便局前に信号機の設置及び宗吾入口交差点に右折補助信号の設置を要望するが如何か。

② 国道296号線東酒々井入口交差点の右折レーン設置の進捗状況を伺う。総務担当参事 ① 東酒々井郵便局前

については、佐倉警察署へ協議している。宗吾入口は、佐倉警察署と協議したが、時差式信号箇所には、補助信号を設置しないと回答を受けている。

まちづくり課長 ② 交差点の形態について、県と県公安委員会の協議に町も同席して進めているところである。

きれいな町づくりについて

問 ① 町の多くの公園は雑草が多く「きれいな町づくり」とは言えない。町の対応について伺う。

② 子どもたちが遊ぶ公園にトイレを設置すべきと考えるが如何か。

町長 ① 本年度から新たに公園等愛護活動推進事業を立ち上げ、公園等の環境美化を推進しているところである。まちづくり課長 ② 新たにトイレを設置することは考えていない。

その他の質問

金塚 学 議員

・子育て支援について

那須 光男 議員

・南部地区新産業団地について

内海 和雄 議員

・県道富里酒々井線の整備計画について

・国道296号線の東酒々井入口の交差点改良について

竹尾 忠雄 議員

・ICアクセス道路工事による周辺水田の被害について
・原発被害への賠償責任について

・住宅リフォーム助成制度の予算の増額補正について

地福美枝子 議員

・便利帳の作成について
・子育て支援について

平成23年7月臨時議会で可決された議案は次のとおりです。

◇農業委員会委員の推薦について

農業委員会の議会推薦委員に、次の方を推薦することになりました。

- 石橋 恵美子氏（伊篠）
- 高梨子美津江氏（墨）

一般会計

◇一般会計補正予算（第4号）

補正の主な内容は、災害対策及び予防に関するものとして、中央

保育園と同和対策集会所の耐震補強工事、防災行政無線の音響調査、放射線測定器の購入、大腸がん検診等の無料クーポン化及び盛年式の開催に必要な経費等についての補正です。



放射線測定器

平成23年度 補正予算額 (単位：千円)

会計名	補正前	7月補正額	補正後
一般会計	5,989,327	21,772	6,011,099

議案・賛成討論(要旨)

齊藤博議員

(議案第1号について)

賛成の立場から、要望を加えて討論する。放射線測定器の件だが、先ほどの答弁だと、保育園は小中学校用に購入したものを使いまわすと考えているようだが、小中学生より小さい保育園児、その保護者に安心を与えるために保育園専用の測定器を設置し、常時観測することが必要である。是非、保育園に一つずつ測定器を購入し、常時町民に公表することを要望する。

千葉県町村議会議長会表彰



原 義明 議員

6月1日に開催された千葉県町村議会議長会定期総会において、同会の表彰規定に基づき、原義明議員が町議会議員として11年以上在職し、地方自治に功労があつた者として、同会より自治功労表彰を受けました。

第6回駅前交流フェスティバル
～孫と楽しむ夏祭り～

7月30日(土)にJR酒々井駅東酒々井側駅前交流広場を会場に駅前交流フェスティバルが開催されました。酒々井太鼓など多様なアトラクションや、焼きそばや綿あめなどのサービスもあり、多くの方でにぎわいました。



表紙の紹介

「しやすいハーブガーデン」では、毎月様々な講習会を開催しています。この日は、ラベンダーを使用した石けんとバンドルズ作りの講習会を開催しました。

ガーデンには、150種類以上のハーブが植栽されており、風が吹くと様々なハーブの香りが運ばれます。

お詫びと訂正

議会だより159号、2ページに記載の議会運営委員会において、委員の名前に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

誤 内藤和雄

← 正 内海和雄

6月定例会のお知らせ

次の定例会は9月6日に開会する予定となっております。会期の概要は、8月31日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせいたしますのでご覧ください。皆様の傍聴をお待ちいたします。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)